

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	府中こども園	施設種別	認定こども園 (旧体系：)
評価機関名	一般財団法人社会的認証開発機構		

令和 2年 1月30日

総 評	<p>社会福祉法人みねやま福祉会が運営する府中こども園は、京都府北部の「天橋立」近くに位置しており、園のすぐそばには海と成相山成相寺が望める自然豊かな環境の中にあります。</p> <p>平成28年度から幼保連携型認定こども園として運営されており、「一人ひとりの子ども達が集団の中で今をもっとよく生き、望ましい未来を作り出す基礎を養う」という事業所理念の元、教育・保育目標に「友達と楽しく遊べる子」「心やさしい子」「感性豊かな子」を掲げ、現在園児58名という少人数ならではの温もりのある家庭的な雰囲気の中で、子ども一人ひとりの発達とコミュニケーションを大切にされた保育を実践されています。</p> <p>観光地に近く、飲食店や土産店を自営されているなどの理由で、休日や夕方遅くまで働いている保護者が多いという地域特性から延長保育事業、地域子ども・子育て支援事業のひとつである一時預かり事業、休日保育事業にも取り組み、地域や保護者のニーズに寄り添った運営をされています。</p> <p>また、「子育てを地域の中で…」という思いの中、グループホーム等との交流に加え、地区の敬老会や公民館の文化祭等、地域の様々な行事や活動に積極的に参加することで、地域の中での園の役割を認識し、地域に貢献できるよう努めてられ、「誇りと夢を持ち、福祉の仕事にまい進できるよう職員の幸福追求」というみねやま福祉会の理念からは、そこで働く「人」を大切にする姿勢が読み取れます。</p> <p>若手職員で構成されるみねやま福祉会リクルーティングTEAM「SKIPPA」では、その若手メンバーが中心となって福祉人材の確保・定着と組織の活性化をめざし、就職フェアの企画・運営や内定者のフォロー、SNSの活用やデザイン戦略などを通して、法人理念である「より質の高い福祉サービスを提供する」ための活動に取り組まれている状況をうかがうことができます。</p> <p>園の建物自体は築40年を経過していますが、手作りの遊具や狭い空間をうまく活用するなどのさまざまな工夫を施すなど、限られた空間のなかで、子どもたちの自主性や主体性を重んじる保育を展開されています。しかしながら、安全面や保護者ニーズからも今後増改築や建て替え、年齢層に合わせた遊具の購入などを視野に財政面を考えていく時期に来ていることも認識されています。</p> <p>今回の第三者評価受診に際しては、3回目の受診ということもあり、前回の反省や評価結果を踏まえ、改善すべき事項を職員と共有・協議したうえで、段階的にかつ組織的に取り組まれた状況を確認することができます。</p> <p>今後は、再度今回の第三者評価の結果を組織全体で共有することで、事業所としてのさらなる成長をめざし、この府中こども園が子どもたちにとっても地域にとってもなくてはならない場として機能し、さらに現職員や未来の養育支援を目指す方にとって、夢や誇りを抱ける実践が行われる場として支援環境を構築されますことを期待しています。</p>
--------	--

<p>特に良かった点(※)</p>	<p>Ⅱ－４－（１）地域と共にハロウィーンパレードなどの行事を行い、さらに地域のグループホームや公民館との連携なども積極的に行われています。府中子ども園だよりや掲示板などで地域との交流の取り組みを案内するなど情報発信も積極的に行い、実施後は地域交流活動報告書を作成し、狙いや活動内容を明確にすることで、次の取り組みに活かされています。</p> <p>Ⅲ－１－（４）保護者が相談や意見を述べやすい環境の整備については、「意見・要望マニュアル」が整備されるなど迅速に対応できる体制が整えられています。また保護者への周知もクラス懇談会や個人面談などの機会に説明を行い、要望や意見、提案を受けるなど適切に行われています。園の玄関には意見箱を設置して保護者に対して意見を述べやすい工夫もみられました。</p> <p>A－１－（４）食事を楽しむために、全園児で食べるバイキング給食や、卒園前にリクエスト給食を行うなど、栄養士や調理師も一体となって工夫されていました。また、日常の給食に骨つきの魚が出ても嫌がることなく、骨を上手に取って誇らしげに見せ合う姿が見られ、楽しみながら成長できる工夫が随所にみられました。</p> <p>このような様子は、食事の時だけでなく保育中にも、子どものやる気を育てる保育士の肯定的な言葉がけがあり、子どもの心豊かな成長につながっていると感じることで高く評価できるものと考えます。</p>
<p>特に改善が望まれる点(※)</p>	<p>I－３－（１）宮津市と出生状況や福祉サービスの情報共有を行うなど、地域の課題を的確に把握・分析し、中・長期計画に反映させていますが、その裏付けとなる中・長期の収支計画が策定されていませんでした。今後施設の増改築などを予定されている中で、ますます財務的な裏付けが必要になると思われますので、収支計画を立てることにより、実現可能な中・長期の計画を策定していただけるとさらに明確なビジョンが示せると思います。</p> <p>I－４－（１）指導監査・法人監査・第三者評価での評価結果を職員会議などで共有し、改善策や改善計画を作成されていることを聞き取ることが出来ましたが、その評価結果の分析過程やそれに基づく課題などの検討過程の記録が確認できませんでした。分析・検討過程を記録することで、組織として評価結果をどのように分析し、活用していくことにしたかが明確になり、改善すべき課題の明確化と実施にもつながると思います。</p> <p>Ⅲ－２－（３）子どもに関する記録の管理について、「教育・保育記録に関する規程」の策定状況は確認できましたが、内容は帳簿の種類と保存年数の一覧表に留まっており、保管や保存・廃棄の方法などについては明確に示されていませんでした。保存年数だけでなく保管・保存・廃棄方法等についても整備されることで、より効率的な業務や保育支援環境の構築にもつながると思いますので、今後、内容の検討、改訂に取り組まれますことを期待しています。</p>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	A	A
[自由記述欄]					
I-1-(1) ①理念や基本方針については、HPやしおりなどに掲載されているほか各クラスや玄関入り口付近にも掲示され、職員や利用者など誰もが目に触れるような工夫がなされていることを確認した。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	B	A
		3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	A	A
[自由記述欄]					
I-2-(1) ①事業経営を取り巻く環境と経営状況の把握・分析については、宮津市などと連携して的確な把握がなされており、自己評価は「B」であったが「A」とした。 ②経営課題に対する取り組みについては、法人の理事会で経営分析を行い、課題については共有・検討されており、その結果を職員に回覧して共有していることを聞き取った。また、年に1回経営コンサルタントが入っている。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	B	B
		5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	B	B
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	A	A
		7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	B	A
[自由記述欄]					
I-3-(1) ①中長期計画についてはみねやま福祉会全体で策定されているほか、園独自でも策定されていることを確認したが、園の収支計画が策定されておらず、評価は「B」のままとした。 ②事業計画の策定については、法人としての中長期計画と保育所の中長期計画を反映した「事業計画」を確認したほか、「職員会議」などで出された職員の意見を反映して策定していることを聞き取った。また、事業計画の中に実施状況の指標となる具体的な成果等も設定されていることを確認した。ただし、留意点で示されているように、園としての中長期収支計画が策定されていないため、評価は「B」のままとした。 I-3-(2) ①事業計画の実施状況の把握・評価・見直しについては、各職員の自己評価の分析が行われていることを「保育士の自己点検・自己評価のためのチェックリスト」で確認したほか、年2回職員から意見を出してもらいとりまとめるなど組織的に行われており、一定の手順も定められていることが聞き取れた。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	A	A
		9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	A	B
[自由記述欄]					
I-4-(1) ①保育の質の向上に向けた取り組みについては、組ごとの「月間指導計画」に基づき質の向上に向けた取り組みを行い、毎月の会議で課題の共有等を行っているほか、内部監査や外部評価（第三者評価）を受けるなど組織的な取り組みが行われていることを「指導監査」などで確認した。 ②評価結果に基づく取り組み、改善策については、自己評価の分析及び結果を「保育士の自己点検・自己評価のためのチェックリスト」として文書化されていることを確認したが、課題を検討する過程についての記録などが確認できず、課題についての改善を職員の参画のもとで行う仕組みがあるためでは言えないため、自己評価は「A」であったが、「B」とした。					

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	A	A
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	A	A
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	A	A
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

II-1-(1) ①管理者の役割と責任については、「分掌表」の中に職種・職務内容が明記され、不在時の権限委任等も明確にされていることを確認した。また、保護者向けの「府中子ども園だより」では、施設長の挨拶等で、自らの役割と責任について記載があることを確認した。
 ②遵守すべき関係法令の理解の取り組みについては、遵守すべき法令がリスト化されていることを確認したほか、改正時などは回覧を行い、職員会議で学ぶ機会を設けていることを聞き取った。
 II-1-(2) ①保育の質の向上に関する管理者の指導力については、施設長が職員会議に参加し、職員の意見を聴く機会を設けていることを「全体職員会議録」で確認した。また、職員面談や人事考課の際にも職員の意見を取り入れ、継続的な評価分析を行っていることを聞き取った。
 ②経営の改善や業務の実効性を高める取り組みについては、施設長が理事長会議に参加し、経営の改善や業務の実効性の向上に向けた分析を行い、改善点を検討していることを聞き取った。さらに、コンサルタントからも年一回アドバイスをもらっている。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	A	A
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	A	A
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	A	A

[自由記述欄]

II-2-(1) ①福祉人材の確保・定着等に関する取り組みについては、法人の人材開発チームの中で積極的に人材確保に取り組んでいることを聞き取った。また、人材確保のために法人の若手職員で作られた「SKIPPA」において、福祉人材の確保・定着や組織の活性化のための活動を行っていることを「リクルーティングTEAM「SKIPPA」の取り組み」により確認した。
 ②総合的な人事管理が行われているかについては、法人の理念及び基本方針の中で、期待する職員像を掲げており、「京都市キャリアアップ研修人事管理制度実施要領」「社会福祉法人みねやま福士会人事管理制度実施要領」において人事基準、処遇などが決められていることを確認した。
 II-2-(2) ①職員の就業状況・意向等については、年休の取得を促す取り組みとして、パースデー休暇やファイブステップ休暇（勤務5年ごと）など、連続休暇を取りやすい仕組みを取り入れているほか、育児などを考慮した勤務時間の変更などにも対応し、働きやすい職場づくりに取り組んでいることを聞き取った。また、福利厚生についても福利厚生センターの「Sowel」クラブに加入し、旅行の補助など様々な取り組みを行っている。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	A	A
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	A	A
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	A	A
	II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	A	A

[自由記述欄]

II-2-(3) ①②③職員の育成に向けた取り組みに関しては、「キャリアパス」を活用してやりがいをもって長く働いてもらう仕組みづくりを行うとともに、「個別研修計画」を立てるなど職員一人ひとりが目標を掲げて取り組む仕組みが出来ていることを確認した。
 II-2-(4) ①実習生の受け入れについては、「実習生・ボランティア・職場体験マニュアル」が作成されていることを確認し、人材育成や社会貢献のため、保育士などの実習生を受け入れていることを聞き取った。また、指導者に対する研修は「研修等報告書」で確認した。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-3 運営の透明性の確保	II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	A	A
		22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	A	A

[自由記述欄]

II-3-(1) ①運営の透明性を確保するための情報公開が行われているかについては、法人のホームページで理念や基本方針などが明記され、寄せられた苦情や相談についても「苦情・相談報告書」をもとにホームページやしおりなどに記載されていることを確認した。
②公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われているかについては、「経理規程」「資産運用規程」「事務取扱規程」により事務・経理等が行われていることを確認した。また、監査は内部監査を受けているほかコンサルタントによる指導等も行われていることを聞き取った。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献	Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	A	A
		24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A
	25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	A	A	
	Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	A	A

[自由記述欄]

Ⅱ-4-(1) ①子どもと地域との交流を広げるための取組については、事業計画や府中子ども園だより、年間行事予定表などに文書化されていることを確認した。また、ハロウィーンパレードを地域行事として実施しているほか、公民館では子どもたちが太鼓を披露し、地域のデイサービスセンターとも連携するなど、様々な地域との交流を行っていることを「地域交流活動報告書」で確認した。
 ②ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立しているかについては、「実習生・ボランティア・職場体験マニュアル」で明文化されていることを確認した。
 Ⅱ-4-(2) ①保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われているかについては、「社会資源・関係資源リスト」により関係機関等のリストが作成されていることを確認した。
 Ⅱ-4-(3) ①保育所が有する機能を地域に還元しているかについては、地域の子育て支援として「わくわくひろば」や一時預かり事業を開催し、入園されていない親子への支援を行っていることを園の「パンフレット」や「府中子ども園だより」で確認した。また、避難所に指定されているわけではないが、災害等に備え、「備蓄品一覧表」が作成されていることもあわせて確認した。
 ②地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われているかについては、子育てサポート事業や一時預かり事業の中で子育て相談や情報提供を行うほか、民生・児童委員等との会議において福祉ニーズの把握を行っていることを聞き取った。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	B	A
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	A	A
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	A	A
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	A	A
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	A	A

[自由記述欄]

Ⅲ-1-(1) ①子どもを尊重した保育については、園の「教育及び保育の内容に関する全体的な計画」や「職員会議録」から、定期的に状況を把握し評価等を行い、必要な対応を図っていることが確認できたので、自己評価「B」を「A」とする。
 ②子どものプライバシー保護等については、「個人情報保護に対する基本方針」に定められていることを確認するとともに、権利擁護に配慮した保育が行われていることを聞き取った。
 Ⅲ-1-(2) ①利用希望者に対する保育所選択に必要な情報の提供については、公共施設（宮津市や社会福祉協議会）などに「要覧」を置いていることを聞き取った。
 ②保育の開始・変更については、「要覧」「しおり」「利用契約書」を用い、利用希望者に対してわかりやすく説明し、同意（自己決定）を得ていることを聞き取った。
 ③保育の継続については、転園の際の引き継ぎ文書があることを聞き取ったほか、卒園時に配布される文書の中に担当者や相談方法などを掲載するなど、卒園後も保育の継続性に配慮した対応が行われていることを確認した。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	A	A
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	A	A
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	A	A

[自由記述欄]

Ⅲ-1-(4) ①苦情解決の仕組みについては、「苦情処理・解決マニュアル」があり、マニュアル見直しチェック表で見直しがされていることを確認した。
 ②保護者が相談や意見を述べやすい環境については、「意見・要望対応マニュアル」が整備されていることを確認し、保護者に周知していることを聞き取った。
 ③保護者からの相談や意見に対しては、迅速に対応していることや相談を受ける部屋が用意されていることを聞き取った。また、苦情内容及び解決結果は、ホームページや文書で公表していることを確認した。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	A	A
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	B	A
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	A	A
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	A	A

[自由記述欄]

Ⅲ-1-(5) ①安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制については、「安全・事故防止マニュアル安全計画危険等発生時対処要領」と「事故報告書」を確認した。
 ②感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制については、「感染症対応マニュアル」にて体制が整備されていることを確認した。自己評価は「B」であったが、感染症の流行の前には嘔吐処理など適切な勉強会が行われていることが確認できたため、評価を「A」とした。
 ③災害時における子どもの安全確保については、「災害対策マニュアル」と「防災計画」にて組織的に行われていることを確認した。
 ④不審者の侵入時などの対応については「災害対策マニュアル」があることを確認し、「防犯訓練計画」により年3回実施されていることを聞き取った

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	A	A
		41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	A	A
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	A	A
		43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	A	A
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	A	A
		45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	A	B

[自由記述欄]

Ⅲ-2-(1) ①提供する福祉サービスの標準的な実施方法については、「年間指導計画」、「月案」、「月個別計画」、「週案」の文書が確認でき、それに基づく保育が提供されていることを聞き取った。
 ②標準的な実施方法の見直しの仕組みについては、半年に1度定期的に、検証・見直しが行われていることが「会議録」で確認できた。
 Ⅲ-2-(2) ①アセスメントにもとづく指導計画については、「乳児発育状況調査票」「家庭票」「健康票」「面談記録」「行動記録」や毎月の「個別指導計画」があることを確認した。
 ②指導計画の評価・見直しについては、月間指導計画は毎月案の作成や評価・反省を行い、年間指導計画は年1回、定期的に評価・見直しが行われていることを聞き取った。
 Ⅲ-2-(3) ①子どもに関する保育の実施状況の記録は、「個別指導」にもとづき適切に行われており、毎月の職員会議で共有されていることを「会議録」で確認できた。
 ②子どもに関する記録の管理体制については、「教育・保育記録に関する規定」があり、帳簿の種類と保存期限は定められていたが、保管・保存・廃棄についての規定がないため、自己評価は「A」であったが「B」とした。

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(1) 全体的な計画の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	A	A
		47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	B	A
	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	A	A
		49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	A	A
		50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	B	A

[自由記述欄]

A-1-(1) ① 保育課程の編成については、保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて行っていることを聞き取った。
 A-1-(2) ① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境については、年代に応じた新しい遊具等が少ないため自己評価を「B」としていたが、現状の施設設備を最大限活かし、子どもが心地よく過ごすことができるよう工夫されていることが見学時の説明により確認できたので、「A」評価とした。
 ② 子ども状態に応じた保育については、給食時や見学時の教職員の言葉がけや接し方から、一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育が展開されていることを確認した。
 ③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境については、一人ひとりの発達や家庭の状況、健康状態を「連絡ノート」や「健康票」などで把握し、無理強ひすることのないように援助していることを聞き取った。
 ④ 子どもが主体的に活動できる環境については、園舎の古さから環境が不十分であると考え自己評価を「B」としていたが、子どもが自発的に園外に出かける提案をし、季節に応じた遊びを取り入れるなど子どもの生活と遊びを豊かにする保育が行われていることを聞き取れたため、「A」とした。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	51	⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	A	A
		52	⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	A	A
		53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	A	A
		54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	B	B
		55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	B	A
		56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	A	A

[自由記述欄]

⑤ 乳児保育については担当制にし、スキンシップをとり、ゆったりとした関わりを大切にしていることや一人ひとりの発達に合わせ、保育内容や方法に配慮していることが聞き取れた。
 ⑥ 3歳未満児の保育については、担当制で特定の保育士との安心の場所を整備し、子ども自身の自分でしようとする気持ちを尊重し、養護と教育が一体的に展開されるよう保育内容や方法が配慮されていることを聞き取った。また、「健康管理マニュアル」があり、SIDSの勉強会を行っていることを聞き取った。
 ⑦ 3歳以上児の保育については、子どもの発達段階に即した玩具を用意し、子どもの提案で保育が展開されるなど、保育内容や方法に配慮していることを聞き取った。
 ⑧ 障害のある子どもの保育については、障害児の特性に合わせた生活の仕方の計画があることを聞き取った。また、障害のある子どもの特性を多様な個性を持つ子どもと捉え、保護者全体に対し理解を求める取り組みがされていることが聞き取れた。しかしながら、園舎のバリアフリー設備がないことや障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取り組みが不十分であると認識されているため、自己評価は「B」のままとした。
 ⑨ 長時間にわたる保育については、自由に自分の好きな遊びを楽しみ、ゆったりと過ごせる環境が整備され、保育内容や方法について配慮され、「要覧」で延長保育(長時間にわたる保育)について記載され、「会議録」で子どもの延長保育の状況について記載されていることが確認できたため、自己評価は「B」であったが「A」とした。
 ⑩ 小学校との連携計画等に基づく保護者との関わりについては、「保育所児童保育要録」や「健康管理マニュアル」に基づき、保育内容や方法、保護者との関わりに配慮されていることを聞き取った。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	A	A
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	A	A
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	B	A
	A-1-(4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	A	A
		61	② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	A	A

[自由記述欄]

A-1—(3) ①子どもの健康管理については、「健康管理マニュアル」「予防接種歴 病歴」に基づき適切に行われていることを確認した。
 ②健康診断は年2回、・歯科検診は年1回実施されている。その結果は、「健康票」に記載されており、「府中子ども園だより」を用いて家庭での生活につながる取り組みなどを保護者に伝えていることを聞き取った。
 ③アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもに対する対応については、「アレルギーに対するマニュアル」を確認するとともに、マニュアルに基づき医師の指示を受け適切な対応を行っていることを聞き取った。また、「在園児除去食一覧表」を確認するとともに、アレルギー対応食にはプレートを置き、外観からも普通食と区別できるものにしていくことが聞き取れたので、自己評価は「B」であったが「A」にした。

A-1—(4) ①園児が食事を楽しめるように、バイキング給食やリクエスト給食の提供のほか、天気の良い日は戸外で食べる等、工夫されていることを聞き取った。
 ②子どもの喫食状況の把握については、「衛生管理・食中毒に関するマニュアル」があり、「給食・検食日誌」も確認した。栄養士や調理員が給食時に保育室に入り、子どもの喫食状況を把握する様子が見られた。

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	A	A
	A-2-(2) 保護者の支援	63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	A	A
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び 虐待の予防に努めている。	B	A
	A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	A	A

[自由記述欄]

A-2—(1) ①子どもの生活を充実させるための家庭との連携については、情報交換を「連絡ノート」で行い、家庭との連携を図っていることを聞き取った。

A-2—(2) ①保護者等が安心して子育て出来るような支援については、「連絡ノート」を用いて情報交換を行っていること、送迎時や年1回の個人面談のほか、必要に応じて面談を実施し、保護者等が安心して子育てできるよう支援していることを聞き取った。
 ②虐待の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防については、「児童虐待マニュアル」があり、それに基づき態勢が整えられていることを確認した。また、毎年CAPプログラムの中で早期発見・対応などの研修も行われており、今年度においても近々職員研修を行う予定であることを聞き取ったため、自己評価「B」であったが「A」評価とした。

A-3—(1) ①保育士等の自己評価による保育実践の改善や専門性の向上については、「保育士の自己点検・自己評価のためのチェックリスト」により保育士等が主体的に保育実践の振り返りが行われていることを確認した。